



2019年9月25日
沖縄電力株式会社

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同について

当社は、本日、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)^{※1}」の提言に賛同するとともに、TCFD コンソーシアム^{※2}へ参画することを決定しましたのでお知らせします。

従来より当社は、環境・社会・ガバナンス（ESG）の観点からCSR報告書等での情報開示に努めてきました。また「沖電グループ環境方針」に基づき、地球温暖化防止や環境負荷の低減にグループ一体となって取り組んでいます。

こうした中、当社事業活動が地球環境に大きく関係するという認識の下、「気候変動が事業活動にもたらすリスク・機会を分析し、情報開示を推進する」というTCFD提言の趣旨に賛同することといたしました。

今後も、気候変動に関する情報開示の一層の充実を図ることにより、企業価値の向上に努めるとともに、持続的発展が可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 TCFD

Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略。主要国の中央銀行や金融規制当局等が参加する国際機関である金融安定理事会(FSB)によって設立されたタスクフォース。自主的で一貫性のある気候関連財務情報開示方法を開発することを目的として設立され、2017年6月、企業が任意で行う気候関連のリスクと機会に関する情報開示のあり方について提言を公表。

※2 TCFD コンソーシアム

TCFD 提言に賛同する国内の企業や金融機関等が一体となって取り組みを推進し、企業の効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取組について議論する場として2019年5月27日に設立。

以上